



### 栃木市と国士館大学との包括連携協定締結式

本学と栃木市は昨年11月18日、地域社会の形成的として「国士館大学」とおおよそ学術の発展や人材育成に寄与することを目的として「国士館大学と栃木市との包括連携協定」を締結した。この協定は、地域振興・AI活用・行政へ協力する観点から、双方が持つ強みを生かし、互に発展を遂げることを目指す。協定は、栃木市から大川秀子市長、桑生川村市長、巨総政経部長、地域社会の持続的な発展へ連携を誓う大川市長(左)と田原学長。

## 地域振興、AI活用 行政へ協力 栃木市と包括連携協定

「協定」を締結した。地域振興・AI活用・行政へ協力する観点から、双方が持つ強みを生かし、互に発展を遂げることを目指す。協定は、栃木市から大川秀子市長、桑生川村市長、巨総政経部長、地域社会の持続的な発展へ連携を誓う大川市長(左)と田原学長。

### アルバルク東京とフレンドシップ協定

学校法人国士館はこのほど、トヨタアルバルク東京株式会社とフレンドシップ協定を締結した。本協定は相互の連携・協定を通じて、学生教育や研究、地域スポーツの発展に加え、持続可能なまちづくりおよび地域活性化への貢献、両者の発展に資することを目的とした知的、人的、物的資源の相互活用を推進する。

### ホームゲーム救護活動も

アルバルク東京の2025年シーズンのホームゲーム約30試合(レギュラーシーズン)に注力するチームの一つで、本学の救急救護士およびスポーツファーストレスポンス会などでの救護活動を高く評価されている。

### ホームゲーム救護活動も

アルバルク東京の2025年シーズンのホームゲーム約30試合(レギュラーシーズン)に注力するチームの一つで、本学の救急救護士およびスポーツファーストレスポンス会などでの救護活動を高く評価されている。

### ホームゲーム救護活動も

アルバルク東京の2025年シーズンのホームゲーム約30試合(レギュラーシーズン)に注力するチームの一つで、本学の救急救護士およびスポーツファーストレスポンス会などでの救護活動を高く評価されている。

### ホームゲーム救護活動も

アルバルク東京の2025年シーズンのホームゲーム約30試合(レギュラーシーズン)に注力するチームの一つで、本学の救急救護士およびスポーツファーストレスポンス会などでの救護活動を高く評価されている。

### ホームゲーム救護活動も

アルバルク東京の2025年シーズンのホームゲーム約30試合(レギュラーシーズン)に注力するチームの一つで、本学の救急救護士およびスポーツファーストレスポンス会などでの救護活動を高く評価されている。

### ホームゲーム救護活動も

アルバルク東京の2025年シーズンのホームゲーム約30試合(レギュラーシーズン)に注力するチームの一つで、本学の救急救護士およびスポーツファーストレスポンス会などでの救護活動を高く評価されている。

### ホームゲーム救護活動も

アルバルク東京の2025年シーズンのホームゲーム約30試合(レギュラーシーズン)に注力するチームの一つで、本学の救急救護士およびスポーツファーストレスポンス会などでの救護活動を高く評価されている。

## ワンチーム国士館

本学は新年あいさつ行事を1月5日、世田谷キャンパス10号館多目的フロアで開催した。瀬野隆理理事長、田原淳子学長、渡邊隆校長をはじめ、学園役職者・教職員ら約400人が出席し、この一年の一層の飛躍を期した。瀬野理事長は、第3次中長期事業計画とキャンパス環境整備事業を通じた学修者第一の環境づくりを掲げ、田原学長は、18歳人口減少時

## 中長期計画・キャンパス整備遂行

「新年、明けましておめでとうございます。」と、佐藤圭一前長からハトンを受け取り、早くも9月10日が経過した。この間、本学ではさまざまな出来事がありました。特に、学生寮における大規模な火災は、社会的関心を集め、マスコットでも多く取り上げられました。この問題に対して、本学は迅速かつ慎重に協議を重ねるとともに、原因究明と調査調査、学生への謝罪、指導体制の再構築、関連規定の改正など、再発防止の執行に尽力しました。この一連の取り組みを通じて、教育環境の点検・改善を進め、本学として前進する契機となったと考えています。

「誠意・勤労・見識・気風」の精神に基づいた教育を継続していくことが肝要です。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。

「安心・安全の浸透・徹底」を推進してまいります。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。

「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。

「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。

「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。

「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。

「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。

「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。

「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。

「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。

## 新年あいさつ

代を見据え、総合大学の強みを活かした「学生のための改革・改善」への尽力を表明し、全教職員に協力を呼びかけた。

## 学修者第一の環境づくり推進

「学修者第一の環境づくり推進」を推進してまいります。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。

「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。

「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。

「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。

「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。

「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。

「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。

「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。

「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。

「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。

「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。本年も、就任時に掲げた3つのポリシーである「安心・安全の浸透・徹底」「総合的な学びの浸透・徹底」を推進してまいります。



題字は創立者 柴田徳次郎  
発行所 学校法人国士館  
〒154-8515 東京都世田谷区世田谷4-28-1  
編集 広報課  
☎ 03-5481-3115



国士館大学新聞はウェブサイトでもご覧になれます

www.kokushikan.ac.jp/information/public\_relations/newspaper/  
年4回・27日発行  
(1・4・7・10月)

卒業生の皆様へ  
いつも国士館大学新聞をご愛読いただき、ありがとうございます。  
発送停止やご住所の変更は下記までご連絡ください。よろしくお願いいたします。  
同窓会事務局  
TEL : 03-3413-7303  
[平日 9:00 ~ 17:00]

## 今号の紙面

- ▼創立108周年記念式典を挙げる
- ▼三笠宮家の彬子女王殿下に特別「講義」を実施
- ▼建築家・田中由也さんに卒業生インタビュー
- ▼全日本学生剣道優勝大会男子団体がV2

## 国士館創立110周年記念事業の寄付金募集

### ■ 募金の趣意

来る創立110周年に向け、本学園のビジョン実現に全力を挙げてまいります。わが学園が「世のため人のために尽くす有為の人材の養成」の建学の精神のもと、国士館独自の教育をもって発展を続けていることにご理解を賜り、創立110周年記念募金事業計画に温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

### ■ 募金の概要

期別	主な事業項目
通期 (2024/4~2028/3)	▶ 学生・生徒への学修支援事業 ▶ スポーツ・文化活動の振興 ▶ 国士館大講堂(国登録有形文化財)の保存および防災対策 ▶ 高等学校・中学校の教育環境の充実 ▶ 3キャンパスの教室等の重点整備 ▶ 防災教育の推進強化 ▶ 世田谷キャンパスの再整備の検討 ▶ 町田キャンパスの整備 ▶ 国士館風の杜キャンパスの運用開始 ▶ 多摩キャンパスの拡充整備 ▶ 近隣の救急病院等との連携構築 ▶ 多摩南野キャンパスの整備 ▶ 国士館風の杜キャンパスへのスクールバス運行
第1期 (2024/4~2025/3)	▶ 5キャンパスの施設環境の充実
第2期 (2025/4~2026/3)	
第3期 (2026/4~2027/3)	

### ■ 寄付金募集の報告

国士館創立110周年記念事業募金の趣旨にご賛同賜り、皆様からの心温まるご支援をいただきました。ご厚志に感謝申し上げます。

区分	寄付件数	寄付額
篤志者	95件	10,448,436円
卒業生	1,687件	39,874,967円
学生・生徒の父母	479件	17,006,000円
教職員等	785件	64,211,555円
法人・団体その他	133件	444,673,515円
合計	3,179件	576,214,473円

### ■ 募金の概要

※上記の「主な事業項目」は、計画の具体化により若干の変更を伴います。また、寄付金は、総事業費の一部に充当させていただきます。

### ■ 募金の概要

※上記の「主な事業項目」は、計画の具体化により若干の変更を伴います。また、寄付金は、総事業費の一部に充当させていただきます。









学校法人  
国士館  
理事長  
瀬野 隆

国士館大学  
学長  
田原 淳子

## 良き伝統を大切に守りながら、 時代の変化に対応した学びの環境づくりを。

田原 国士館では、創立以来100年以上にわたり、自分を活かし、多様な人々を活かしながら、国内外で活躍する“活人”を育成しています。警察や消防など、“人を支える職業”に多くの卒業生を輩出しているのが、その証です。

瀬野 その核にあるのが、「国を思い、世のため、人のために尽くせる人材の養成」という国士館建学の精神です。学生一人一人の“人そのもの”を育てていくことに、すべての教員、職員が真剣に取り組んでいるのが、国士館らしさであると感じています。

### 「AI・データサイエンス教育プログラム」と「防災教育」

田原 こうした良き伝統を守りながら、社会の変化を敏感に柔軟にキャッチして学びの環境を整えているのも本学の特色といえます。「AI・データサイエンス教育プログラム」と「防災教育」に力を入れており、副専攻として学部を問わずに学ぶことができます。

瀬野 「AI・データサイエンス教育プログラム」については、文部科学省が推進する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベルと応用基礎レベル）」に認定されており、先進のプログラムを本学で学ぶことができます。



田原 「防災教育」については、全学生対象の「防災総合基礎教育」をはじめ、講義と演習で学ぶ防災リーダー養成カリキュラムを展開しています。「防災士」の養成にも力を入れており、これまでに資格を取得した学生は1,500人を超えています。また、防災分野をはじめ社会実装が進むドローン操縦の国家資格取得講習も実施しており、社会で活躍する最新の知識や技術を身に付けることができますので、ぜひチャレンジしてほしいです。

瀬野 防災士に関しては、将来的には約半数の学生が資格を取得することを目標にしています。また、多くの学生が災害ボランティアに参加し、災害時の実情を理解しており、社会に出た際に非常に役立つと考えています。

田原 小学校教員となった卒業生が、本学の防災教育を活かして、全校児童の前で実演指導しているという話を聞きました。また、防災士の資格は、民間企業でも、災害時に資格や知識を発揮できるので、積極的に受講していただきたいです。

### グローバルな舞台で活躍する“地球市民”を育成

田原 グローバル化が進む社会において、世界的な課題を見つめ、考え、行動する力を養う、“地球市民”の育成にも力を注いでいます。さまざまな留学制度を充実させるほか、海外協定5大学とともに、「アカデミックコンソーシアム」を定期開催し、学生たちの国際交流の場を広げています。

瀬野 国士館大学は現在、24カ国・1地域で53大学3研究機関と学術交流協定を締結しています。世界とつながり、国や文化の違いを認め合う視野の広さを身に付けながら、グローバルな舞台で活躍する機会にあふれています。

### 学系・コース再編とカリキュラム改革

田原 時代のニーズに合った大学であり続けるために、2026年度から4学部（理工、法、文、21世紀アジア）で学系・コースの再編やカリキュラムの改革を実施します。たとえば、文学部では、初等教育課程と中等教育課程に分かれていたコースを1コースに統合し、新たな教育学科としてスタートします。これにより、教育学科の全学生が幼稚園、小学校、中学校（社会科・保健体育科）、高等学校（地理歴史科、公民科、保健体育科）、特別支援学校、養護教諭の各一種免許状といった幅広い選択肢の中から自分の興味や進路選択に合わせて免許状の取得を目指せるようになります。また、21世紀アジア学部では、2025年度から日本サッカー協会公認C級ライセンスの指導者資格取得のための

# 夢を叶える

# 大学であり続けるために

集中講義も開講し、国内はもちろん、アジアをはじめとする海外で指導者として活躍できる道を開いていきます。

瀬野 これらの資格に加えて、税理士や公認会計士など、卒業生が社会で活躍する機会をどんどん増やすために、大学院も含めたカリキュラムの改革を進めていきます。

田原 カリキュラム改革には、学部の垣根を低くするというねらいがあります。実社会の課題解決のためには、さまざまな分野の知識や技術を融合する必要性に直面します。自分の専門分野に他分野の学びを掛け合わせることで、自由な領域の学びを探究できるのではないのでしょうか。7学部10研究科、研究所を有する総合大学・国士館の強みを活かして、社会で活躍するための“総合知”を身に付けられる環境をどんどん整えていきます。

### 次世代を担う、新たな国士館へ。キャンパス環境整備事業、進行中

瀬野 国士館では現在、世田谷キャンパス校舎の建て替えを中心とした環境整備事業が進行しています。急激に進む情報化社会の中で、次世代をリードする知の拠点を創出するという思いのもと、ICTを活用したデジタル技術を取り入れ、“どこでも学べ、議論ができ、休息できる”学生の自由な居場所を積極的に創出します。



田原 教室の机や椅子を可動式にして自由なレイアウトができるようにするなど、アクティブラーニングを想定した教室環境を構想しています。教室だけではなく、友だちとおしゃべりを楽しんだり、食事をとったり、PCで自習をするなど、自由に使える場所を随所につくことで、コミュニケーションが豊かになり、そこから新しいアイデアが生まれていく。“余白”がたくさんあるキャンパスを目指しています。

瀬野 いかに広く、区切らずに、快適な空間をつくるか。授業が終わっても、キャンパスでずっと過ごしたくなる、居心地の良さを追求しています。

田原 スポーツの機会がもっと身近になる施設や、健康的な食事の提供など、あらゆる面で学生ファーストを実現するキャンパスで大学生活を楽しんでほしいと思います。

瀬野 地域との連携を強化し、災害時には防災拠点にもなる。既存概念に捉われない、まったく新しい大学の姿を国士館が実現していきます。

### 安心安全なキャンパスづくり

田原 学生が快適に過ごす基盤となるのは、安心安全なキャンパスづくりです。アスリートも多くいる大学ですので、けがへのケア、心理面でのサポート、さらには、女性アスリートへの専門的な支援など、誰もが安心して学生生活を過ごせるキャンパスづくりを進めていきます。

瀬野 田原学長は、国士館では初めての女性学長です。女子学生へのさまざまなケアが行き届いた環境は、すべての学生にとって過ごしやすい環境になります。女性視点からのキャンパスの改善に、非常に期待しています。



### 学生へのメッセージ

#### “好き”を見つけ、自分の可能性を磨く4年間に

田原 国士館は、教員と学生の距離が近く、“面倒見の良い大学”だと自負しています。本学で、好きなことを見つけ、自由にとことん探究し、自分の可能性を磨きながら、仲間や先輩・後輩、教職員との関係を生涯の財産としてください。国士館がワンチームで皆さんの成長を全力でサポートします。

瀬野 国士館は、“夢を叶える大学”です。学生一人一人の夢を現実のものとするために、ハード、ソフト両面から大学の改革を進めていきます。国内のみならず、海外で活躍する力を磨く機会にもあふれています。ぜひ、国士館で大きな夢を叶えてください。





カンボジアの救急医療確立へ  
現地で知見・ノウハウを伝授

本学の教員・院生が連携、貢献

進める国立国際医療研究センター病院（東京・七ツ夕）で、現地医師を指導し、約90人を対象に救急救処置や搬送方法など病院前救急医療に関する知識と技術を実践的に伝えた。

同プロジェクトでは、来ても、医療従事者や一般民向けの研修や、広く行なうが現地指導者の育成を進めており、

でき、活動の意義を実感した。自分なりに

を助ける姿を見ることが、も大きな力になった。語り、充実した表情を

せた。



\_\_\_\_\_



昨年11月15日から26日を会期に開催された東京2025デフリンピック。熱戦が繰り広げられる中、本学関係の選手・指導者が、それぞれの立場からデフリンピックで奮闘した。

## 曾我部選手「銅」

レスリング 日本選手で初のメダリスト

男子グレコローマン  
スタイル130㎏級



### 東京デフリンピック

レスリング競技では、曾我部選手は、平成18年、東京デフリンピックで銅メダルを獲得した。今回は、男子グレコローマンスタイル130㎏級の決勝戦で、ウクライナ選手との一進一退の激しい展開の中、第3リウンドに豪快なテイクダウンを決め、逆転勝ち。その後も、痛恨の逆転負けを許し、惜しくもメダル獲得を逃した。同競技における日本選手史上初のメダル獲得を果した。



### 十種競技日本記録保持 右代准教授、指導の岡部選手と「共生」

たした。曾我部選手は、「デフ・レスリングにおける初のメダリストとなったこと」を誇りに思っています。私の戦う姿を見て、聴覚障がい者でもスポーツを楽しむことができるという広さを感じた。これからのメダリストが生まれることを願っています。と本学学生へ力強いエールを送った。

上十種競技では、本学陸上競技場で練習を重ねる岡部選手は、昨秋の全日本選手権で、100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、5000m、10000m、20000m、50000mの10種競技で優勝した。岡部選手は、昨秋の全日本選手権で、100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、5000m、10000m、20000m、50000mの10種競技で優勝した。岡部選手は、昨秋の全日本選手権で、100m、200m、400m、800m、1500m、3000m、5000m、10000m、20000m、50000mの10種競技で優勝した。

## バレー男子 インカレ準優勝

創部初「全員で闘う」快進撃



### バスケ男子 3年ぶり1部昇格

第78回全日本学生バレー選手権大会が、東京・大田区総合体育館で昨年12月2日から7日にかけて開催された。本学が創部初となる準優勝に輝いた。本大会は、各地方の秋季リーグ戦を勝ち抜いた上位64チームが日本一をかけた工藤選手がチーム最多得点をマークして勢いをづけた。

第78回全日本学生バレー選手権大会が、東京・大田区総合体育館で昨年12月2日から7日にかけて開催された。本学が創部初となる準優勝に輝いた。本大会は、各地方の秋季リーグ戦を勝ち抜いた上位64チームが日本一をかけた工藤選手がチーム最多得点をマークして勢いをづけた。

## 全日本学生優勝大会 剣道男子団体 V2



通算16回目 歴代最多優勝校



### 全日本大学サッカー準優勝 宿敵・筑波大にあと一歩



第74回全日本大学サッカー選手権大会が昨年12月6日から27日にかけて行われ、本学は見事準優勝に輝いた。関東大学リーグ準優勝チームとして大会に出場した本学は、多くの人が抱える苦しいチーム事情ながらも、大会MVPに輝いた主将のMF吉岡優希選手(体育4年)やW皆川春輝選手(同2年)ら攻撃陣と、DF川原颯斗選手(同4年)ら守備陣が抜群のチーム力を発揮。平成11年大会以来の優勝を目指して躍進を続け、12年ぶりに決勝の舞台へ駒を進めた。

本学は、前只会で優勝を経験した選手を中心に、数々の勝利を収めた。迎えた決勝では、関東大会で敗れた筑波大学と対戦。試合序盤では、文太選手(体育4年)が5本の留場勝ち手(同3年)が共にゴールを打ち、勢いをづけると、大将戦で中田選手が相手のコナ

手に集中することを考え、試合に臨み、最後の返すを待ち、3-1で見事優勝した。今年度で退任される石田重昭部長に、優勝という華を添えることができて、とてもうれしかった。と振り返った。中田選手は「ひたすら喜びをかみしめた。」

川端選手3位 男子90級 柔道グラッドスラム 川端選手は、足技を駆使して順当に勝ち上がるも、準々決勝で、同級で優勝した村尾三郎選手に敗れ、3位に終わった。川端選手は、足技を駆使して順当に勝ち上がるも、準々決勝で、同級で優勝した村尾三郎選手に敗れ、3位に終わった。

山中選手 箱根路疾走 学生連合 第102回東京箱根間開走され、山中寿世選手(体育3年)が関東大学駅伝が1月2・3日に生連合チームの一員として出場した。山中選手は6区を走り、戸ノ倉小田原中継所間の20.8kmを区間16位相当のタイム(59分26秒)で力走。復路の第一走者として、チームに勢いをもち、すべり強い山を下りて見せた。

## マネジャーの声 No.45

トライアスロン部 バレーボール部(男子)



マネジャー 稲垣美音(経営1年) トライアスロン部は先年、後輩の成長が温かい愛情に満ちたチームです。トライアスロンは水泳、自転車、長距離走の3種目を連続して行う競技です。主に個人競技ですが、中には、高次時代の部活があるからその雰囲気は、各々が頑張っています。この大会は、日本学生トライアスロン選手権で、日本U23デューアスロ

インカレ準優勝を果たし、メダルを首にかけKポーズをする部員ら(後列左から2人目山岸さん) 山岸颯太(21ア4年) 国士館大学男子バレーボール部は関東大学バレーボール連盟1部に所属し、応援されるチームを目標に日々切磋琢磨しながら活動しています。今年度は技術だけでなく、人間性の向上にも力を入れ、挨拶・礼儀・マナーの徹底を心がけました。試合の大事な場面では、これらの緩みが勝敗に影響すると考え、日常

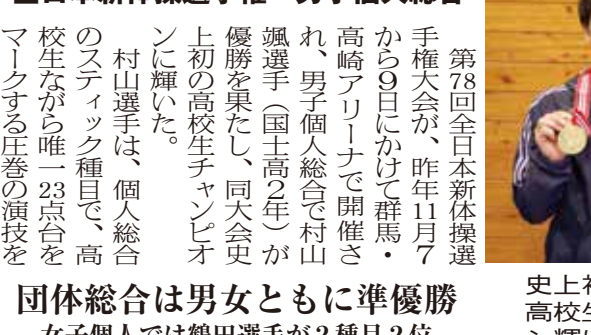


会心の大会内刈りで銅メダルを獲得した川端選手(右)＝国際柔道連盟提供

男子柔道部の監督に堀内氏 新体制で再スタート 本学柔道部(男子)は、昨年12月1日付で、監督に堀内氏(平成12年)が就任し、新体制で再スタートを切った。堀内氏は、本学体育学部教授が就任し、新体制で再スタートを切った。

### 村山選手 大会史上初 高校生V

全日本新体操選手権・男子個人総合



村山選手は、個人総合のスティック種目で、高橋アリーナで開催された第78回全日本新体操選手権大会が、昨年11月7日から9日にかけて群馬・高崎アリーナで開催された。男子個人総合で村山選手(国士高2年)が優勝を果たし、同大会史上初の高校生チャンピオンに輝いた。

活躍するスポーツ 【柔道部(男子・女子)】 ●第1回全日本学生柔道男女混合団体大会(12/20～21) 3位 国士館大学 ●全日本学生柔道YAWARA Challenge Tournament(12/13～14) 女子48㎏級 優勝 城戸珊瑚(体2年) 二写真 2位 納庄千寿(体1年) 女子52㎏級 3位 清水夏美(21ア3年) 【サッカー部(男子)】 ●第99回関東大学サッカーリーグ戦(4/5～11/16) 2位 国士館大学 【レスリング部(男子)】 ●全日本大学レスリンググレコローマンレスリング選手権大会(10/18～19) 男子55㎏級 2位 山城快陽(体3年) 【ハンドボール部(男子・女子)】 ●全日本学生ハンドボール選手権大会(11/21～12/6) 男子・女子 3位 国士館大学 【空手道部(男子・女子)】 ●第4回全日本空手道団体形選手権大会(12/13～14) 女子団体形 2位 国士館大学 男子団体形 3位 国士館大学 【ドッジボール】 ●2025アジアドッジボールチャンピオンシップin JAPAN(9/27～28) 2位 瀬尾クラブ/中島達哉(院1年)所属＝写真



2026シーズンのAC長野パルセイロの川原颯斗選手(体育4年)は、優れた足の技術と鋭い戦術眼をもつセンターバック。田中選手は、巧みなボールタッチを武器とするサイドバック。塚崎選手は、抜群の統率力をもつディフェンダー。披露。さらに、クラブ種目でもトップにわずか0.1点差に迫る高得点を収めるなど、全種目において安定感のある演技で観客を魅了し、見事個人総合優勝に輝いた。また、種目別スティックでも、芸術的および実施点トップの演技で金メダルを獲得し、新体操界のニースターとして、一躍名乗りをあげた。

「これまでの積み重ねを信じて挑みました。目標タムも最低限クリアでき、今持っている力を発揮できたと思います」とレースを振り返った。本学陸上競技部の小川博之監督は、短い準備期間の中でも、共に設定した目標を達成してくれた選手たちを称賛した。

### 活躍するスポーツ

【柔道部(男子・女子)】 ●第1回全日本学生柔道男女混合団体大会(12/20～21) 3位 国士館大学 ●全日本学生柔道YAWARA Challenge Tournament(12/13～14) 女子48㎏級 優勝 城戸珊瑚(体2年) 二写真 2位 納庄千寿(体1年) 女子52㎏級 3位 清水夏美(21ア3年) 【サッカー部(男子)】 ●第99回関東大学サッカーリーグ戦(4/5～11/16) 2位 国士館大学 【レスリング部(男子)】 ●全日本大学レスリンググレコローマンレスリング選手権大会(10/18～19) 男子55㎏級 2位 山城快陽(体3年) 【ハンドボール部(男子・女子)】 ●全日本学生ハンドボール選手権大会(11/21～12/6) 男子・女子 3位 国士館大学 【空手道部(男子・女子)】 ●第4回全日本空手道団体形選手権大会(12/13～14) 女子団体形 2位 国士館大学 男子団体形 3位 国士館大学 【ドッジボール】 ●2025アジアドッジボールチャンピオンシップin JAPAN(9/27～28) 2位 瀬尾クラブ/中島達哉(院1年)所属＝写真